

# HU-style

創刊号 | 2005  
**Apr.**

特集

## 春だから、恋をしよう

あの人に会いたい

NHKアナウンサー

## 小野文恵



HIROSHIMA UNIVERSITY

INTERVIEW with Fumie Ono

# あの人に会いたい

NHKアナウンサー  
**小野文恵**

「言葉の力ってすごい！」  
その感動が私の原点です。



## PROFILE

1968年4月18日生まれ、広島県府中市出身  
国立広島大学附属福山高等学校、東京大学卒業

1992年NHK（日本放送協会）入局  
東京アナウンス室 NHKアナウンサー  
担当番組

ためしてガッテン 総合[水] 20:00~20:45  
土曜スタジオパーク 総合[土] 14:00~15:00  
土曜特集 鶴瓶の家族に乾杯 総合[土] 19:30~20:40



## 学生時代の一番の思い出はラクロス

大学時代の思い出と言えば、やっぱりラクロスかな。入学した頃はラクロスがまだ日本に入ってきたばかりで、私の大学には男子のサークルしかありませんでした。それを見た友人が「やりたい!」と言い出したので、2人でチーム?を結成。最初の冬なんて、毎日2人でキャッチボールばかりしていました。そんなラクロス部も体育会に昇格したと聞いて、感慨にふけっているところです。今ではすっかり縁遠くなっていますが、学生生活のいい思い出。だって、あんなミニスカート、この歳になると絶対にはけないでしょ。

## きっかけはドキュメンタリー

マスコミの世界で働きたいという気持ちは、昔からありました。ただ一口にマスコミと言っても、TV局、ラジオ局、新聞社…色々ありますよね。だから、就職活動中もどの道を選ぶべきか、ずっと迷っていました。その頃、私の進路を決定付けるドキュメンタリー番組に出会ったんです。当時は湾岸戦争の最中で、平和教育を受けた広島の小中学生が学級新聞を作って駅前まで配るまでを撮影したものでした。その番組の何が良かったかというと、子どもの生の声をきちんと捉えたインタビューがあったこと。広島で育った私自身の小学生時代にも重なり、子どもの頃ってこんなピュアな気持ちだったなあと思わせてくれるような子どもたちのリアルな言葉は、素直に心に響きました。急ぎ足で生きている人生をふっと止めさせる言葉の力ってすごい私もこういう言葉を取材して伝える仕事がしたいと思ったんです。それで番組の制作者を調べたら、NHKの女性アナウンサーだったんですよ。

## 心を打つ言葉って、簡単には見つからない…

実際にアナウンサーになってみて、人の心に響くパワーのある言葉なんて、なかなか見つかるものじゃない、言葉を正しく扱うのはとても難しいことだと実感しました。だから今でも、毎日が試行錯誤の連続です。かっこいい言い方になってしまうかもしれないけれど、見てくれている人がいる、そして自分のしたことに対してダイレクトに反応があるってことが、この仕事の一番の喜びですね。そして、一緒に働いているみんなが、とても仕事に誇りを持っている。信頼できるスタッフと一緒に働けるのは、私にとってすごく幸せなこと。

## 話すだけでなく、聞きだすことも大切な仕事

私は5年間、「土曜スタジオパーク」という番組で、多くのゲストの方にインタビューをしています。その人の本質を表現するようなインタビューはまだできていない気がします。「鶴瓶の家族に乾杯」は、行き当たりばったりの旅の中で地域の人々

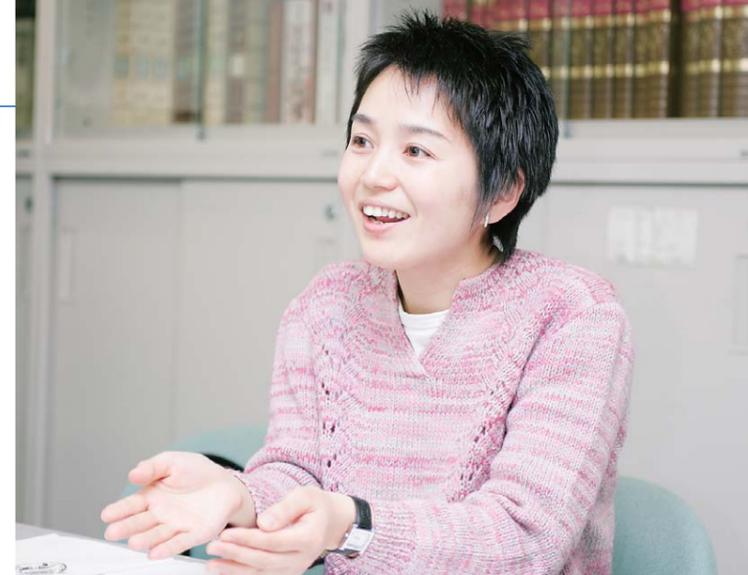
## 取材を終えて

すてきな笑顔で話してくださった小野さんは、自然体のもっとも気さくな方でした。TVに出演しているとき意外はほとんどスピンだとか…。また、きちんと言葉を選んで答えてくださるような真摯な姿勢もとても印象的でした。

取材・記事 / 総合科学部4年 夫津木芳美

どんな質問にも真剣に答えてくださった小野さん。その言葉の一つ一つから仕事に対する想いや熱意、そして小野さんの魅力的な人柄がひしひしと伝わってきました。言葉の持つ“不思議な力”というものを改めて実感できる貴重な体験となりました。

取材・記事 / 工学部4年 宮田 浩紀



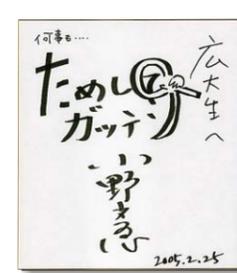
と交流するという番組ですが、何の打ち合わせもしていない地元の人たちから、なぜあんな感動的な話が聞けるの?と不思議に思って鶴瓶さんに質問したら「どんな人の人生にもドラマがある。それをうまく聞きだせるかどうか腕なんや」と言われました。

聞きだせるアナウンサー、これは私の大きな目標。「この人に、こんな素顔があったなんて!」と視聴者の皆さんを驚かせるようなインタビューができるようになりたいですね。

## マスコミ関係への就職を目指すなら…

就職活動について具体的に言うと、相手をどれだけ客観的に見ることができるかが決め手となる気がします。「履歴書見てください」と学生さんに頼まれることがありますが「NHKが好き。この番組が好き」と主観的に書いてあるものよりも「他局と比較してNHKはこうだ。だから、この局でこれをやりたい」と書いてある客観性の強いもの、つまり、物事を多角的に捉えることのできる人に魅力を感じますね。

学生時代は、自分の中にアンテナをたくさん立てて、とにかく色々なことに興味を持って、チャレンジしておいた方がいいと思います。テレビや新聞はもちろん、映画やお芝居など、クリエイティブなものを意識して見ることも必要。作り手がどんな想いでどこを工夫して作っているのを見ることが、すごく勉強になるから。そして、迷ってもいいから、とにかくあきらめずに自分の可能性を全て試してみることでいいですね。



# 春だから、恋をしよう

期待に胸ふくらむ春だからこそ、何かを頑張っている、恋している♡ 広大学生を紹介します。  
新しい出逢いの多い4月、あなたも夢中で恋できる何かを探して見ませんか。



## 舞台の上に 自分の存在意義がある

吉本 武史 さん  
医学部4年

演劇

現在、広島大学演劇団を中心に活動中です。役それぞれの人生を経験でき、その感情や生き様までも表現するところに芝居の魅力を感じますね。芝居は多くの時間とお金をかけても、本番はたった数時間と非効率的。しかもやる度に化するナマモノです。でもその中で何かを見い出せたら...と思っています。練習中心の生活はとても忙しいけど、芝居は今や自分の生活に欠かせないものです。舞台の上で芝居に熱中しているとき「自分」という存在を再確認できるんです。



## やるだけやれば、 結果はついてくる

井藤 由希子 さん  
教育学部2年

競歩

長距離をやっていた私が競歩を始めたのは、故障を抱えていたときに先生が勧めてくれたから。最初は乗り気じゃなかったけど、練習した分だけ順位が上がっていくのがおもしろくて夢中になっていきました。現在は体育会陸上部に所属し、競歩が中心の毎日。試合での達成感を得るために日々練習しています。去年のインカレで得た全国2位という成績には誰より自分がびっくり。大学生のうち世界大会で記録を残す、これが今一番の目標です。



## 謎の巨大クラゲの研究は、 刺激的な挑戦の連続

河原 正人 さん  
大学院生物圏科学研究科  
博士課程後期1年

研究

エチゼンクラゲ研究の魅力は、誰もわからないことを解明すること。またアポなしで漁船に乗せてもらったり、海の家で居候しながら研究をしたりと、エチゼンクラゲをきっかけに広がる世界も楽しみの一つです。今後は、どの段階で大量発生するのかを調べるために、韓国、中国で研究に打ち込む予定。いつか「エチゼンクラゲのことは河原に聞け」といわれるようになることを夢見つつ、ツチノコを発見できればもっと面白いなぁと日々下を向いて歩いています。

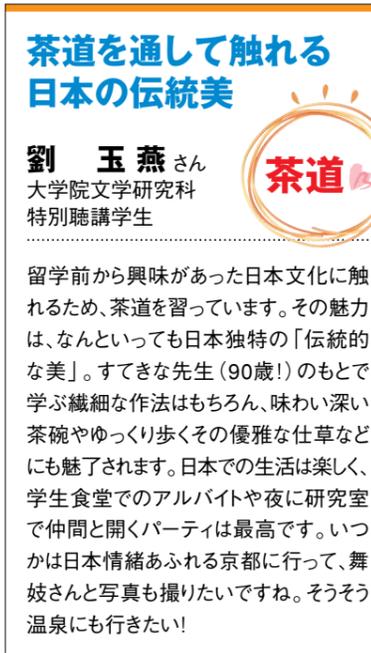


## 集中することの 大切さを実感

筒井 志歩 さん  
総合科学部4年

バレエ

レッスン中は、体や心の動きを感じることに集中。その後は、客観的に自分と向き合い、課題の克服に専念します。先生の指導ひとつにしても、集中の度合いで飲み込みに差が出ます。バレエを通して感じるのは、集中することの大切さ、難しさです。始めはただ楽しいだけだったけれど、今はできない苦しさも。でも乗り越えるたびに現れる新たな壁は、私がバレエの虜になる理由のひとつです。おかげでバイト代が飛んでいって(笑) ちなみに今の目標は腹筋・背筋の筋力アップです!

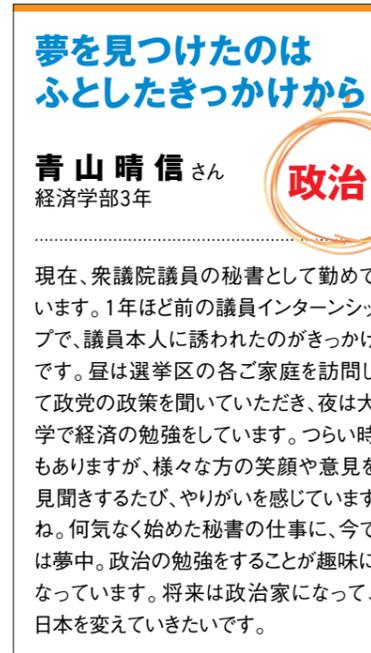


## 茶道を通して触れる 日本の伝統美

劉 玉燕 さん  
大学院文学研究科  
特別聴講学生

茶道

留学前から興味があった日本文化に触れるため、茶道を習っています。その魅力は、なんといっても日本独特の「伝統的な美」。すてきな先生(90歳!)のもとで学ぶ繊細な作法はもちろん、味わい深い茶碗やゆっくり歩くその優雅な仕草などにも魅了されます。日本での生活は楽しく、学生食堂でのアルバイトや夜に研究室で仲間と開くパーティは最高です。いつかは日本情緒あふれる京都に行って、舞妓さんと写真も撮りたいですね。そうそう温泉にも行きたい!



## 夢を見つけたのは ふとしたきっかけから

青山 晴信 さん  
経済学部3年

政治

現在、衆議院議員の秘書として勤めています。1年ほど前の議員インターンシップで、議員本人に誘われたのがきっかけです。昼は選挙区の各ご家庭を訪問して政党の政策を聞いていただき、夜は大学で経済の勉強をしています。つらい時もありますが、様々な方の笑顔や意見を見聞きするたび、やりがいを感じていますね。何気なく始めた秘書の仕事に、今では夢中。政治の勉強をすることが趣味になっています。将来は政治家になって、日本を変えていきたいです。



取材・記事 / 総合科学部4年 藤 侑佳  
総合科学部4年 夫津木芳美  
総合科学部2年 森尾 陽一  
教育学部4年 小杉 知佳  
法学部3年 新本 恭子  
経済学部4年 梅田 佳宏

# 学生取材班が行く

広大のちょっと気になる先生から東広島周辺の穴場スポットまで、知って得する?情報を大公開。今回は、独特の授業スタイルが評判のあの先生をインタビュー。そして、最近話題になることの多い「タバコ」と噂の「灰ヶ峰」について調べてみました。



## タバコの問題 — どうする広大生!? —

昨年12月、ある学生から広報誌編集部こんなメールが届きました。「最近、学内で『歩きタバコ』や『ポイ捨て』が多すぎるように思います。今日も目の前で、歩きタバコやポイ捨てをしている人を何人か見かけました。このような状況を外部から来た人が見たら、すぐがっかりするのではないのでしょうか。広大の現状は、世の中の禁煙の流れとは大きくそれてしまっているように思えてなりません。同じ広大生として、とても恥ずかしく悲しいです」



キャンパス内に無造作に捨てられた吸い殻

実際に取材班もキャンパス内を歩いてきました。道にも建物の入り口周辺にも、至るところにあるわあるわ…。吸い殻が無造作に捨てられています。今まで自分が意識していなかっただけで、現実には想像以上のポイ捨て跡が見つかりました。これが仮にも20歳を過ぎた大人のすることだろうか…と情けなくなります。



今や世界中で煙たがられているタバコ。日本でも2003年5月に施行された「健康増進法」を受けて、駅や映画館といった公共の場、レストランなどが次々に全面禁煙に変わってきています。キャンパス内を全面禁煙に踏み切った大学もあります。一方で配慮しなければいけないのが、喫煙者の「吸う権利」。キャンパス内全面禁煙に踏み切るか、それとも共存(分煙)の道を探るか、意見の分かれるところです。

皆さんも一度、タバコに注意を向けながらキャンパス内を歩いてみてください。タバコを吸う人も吸わない人も気持ち良く過ごせるキャンパスにするためには、どうすればいいんでしょう…。あなたはどう思いますか?



取材・記事 / 法学部3年 新本 恭子

## 灰ヶ峰 — 言葉にできない夜景 —

「2時間かけてたどりつく灰ヶ峰の眩い夜景〜♪」(『線路沿いの恋』:Bluem of Youth)と歌にもなった灰ヶ峰。広島県随一の夜景スポットという噂を聞き、取材に行ってきました。

灰ヶ峰までは、東広島キャンパスから約1時間の道のり。国道375号線を黒瀬・呉方面に進み、県道66号線へ。ジェットコースターのような坂道を越え、さらに県道174号線へと進みます。道が狭くなってきたところで「灰ヶ峰まで3km」という看板を発見。ここからは急な坂道になるので、運転と車酔いに注意しましょう。ひたすら進み、サッカーボール?を載せた建物を見つけたら、そこが頂上です。



大雨や強風からアンテナを守るため球体になっているらしい。



実はこの建物、中国地方に2つしかない気象レーダーの観測所の1つ。テレビで「現在の雨雲の様子を見てみましょう」というときの雲の映像はここで観測されており、あの球体の中では大きなパラボラアンテナが回転しているそうです。

さて、しんみりとした夕暮れを過ぎると、辺りは漆黒の闇に包まれます。眼下を見れば、目に映るのは呉の眩い街灯りと空に輝く星ばかり。言葉にできないほどの絶景が広がります。その素晴らしさは一見の価値あり。あなたの友達や恋人、はたまた気になる人を誘って、ぜひとも訪れてみてはいかがでしょう。きっと心を熱くする「何か」を感じることでしょ。



光の筋をたどると「くれ」と読めるという噂も…

取材・記事 / 生物生産学部4年 有富 大輔

# Knock the door

## ■ 学生を驚かせる授業スタイル。 ときには映画の世界にも

### ■ 大学院教育学研究科 柳澤研究室訪問

#### 勉強嫌いが原点 柳澤流オモシロ学問

「学生時代は、難解な授業が多くて勉強が嫌いだっ  
た」という柳澤先生。自分が大学教師になるなんて夢  
にも思っていなかったそうです。しかし、高校教師の免  
許を取るために進学した大学院で勉強の面白さに目  
覚め、現在の道へ。「勉強が好きではなかったという経  
験は今の授業に役立っています。理解しやすいだけで



柳澤浩哉

大学院教育学研究科  
日本語教育学講座 助教授

1960年生まれ。  
87年筑波大学大学院教育学  
研究科博士課程後期単位修  
得退学。90年広島大学総合  
科学部講師に就任。同助教授  
などを経て、03年から現職。  
専門分野は修辞学・日本語学。  
著書に「レトリック探求法」(共  
著)他。

はなく、学生を圧倒するような仕掛けで、皆さんを驚かせながら授業を  
進めています」

先生の授業には、映画分析があります。今回の取材でも実際に映  
画を見せていただきました。99年に公開されたアメリカ映画『シックス・  
センス』の冒頭シーン。地下室にワインを取りに来た女性の姿を追う  
カメラは、棚の裏側や階段の陰といった盗撮の視点から撮られていて、  
誰かが女性をのぞいていると感じさせる仕掛けがなされています。また、  
これによって地下室に何かが潜みやすいということも示唆しています。  
このように、映画には、カメラの位置や角度、色彩など様々な部分に意  
味が盛り込まれており、分析する視点を持って映画を見ると、新しい発  
見があることを実感しました。

#### その歴史は2000年。人類の知恵の貯蔵庫「レトリック」

柳澤先生の現在の研究テーマは、映画ではなくレ  
トリックです。レトリックとは、古代ギリシャを起源とし、  
2000年以上の歴史を持つ学問で、一言で言うと「“説  
得”のための知恵の貯蔵庫(=表現技術の総カタログ)」。先生は、このレトリックの蓄積を使って文章を読  
み解く研究をされています。文章が持つ説得力という点  
に注目し、小説や舞台・映画の脚本、新聞の社説など  
からもレトリックの仕掛けを見つけ出します。例えば、夏

目漱石の小説『吾輩は猫である』の「吾輩は猫である。  
名前はまだない。」で始まるごちない冒頭。これは語  
り手である猫の知性の低さを表現するために、あえてつ  
たない文章を用いているそうです。「仕掛けを見つけ出  
すだけでも面白く、さらにそれを手掛かりに、文章の戦略、  
作者の意図などが謎解きのように見えてくる。これがレ  
トリックの醍醐味です。シェイクスピア、近松門左衛門、  
三島由紀夫…優れた作家は、人物描写の道具として  
レトリックを駆使しており、その見事さにしばしば脱帽し  
ます」。奥が深く、学ぶべきことも多いレトリック。だか  
らこそ、卒論指導の学生にはたくさんの課題を出し、厳し  
く指導しているそうです。

#### 無理だと思うことをやり遂げよ

先生は、興味を持てるものを探し続け、専門分野が  
二転三転したそうです。やっと最後にめぐり会ったのが

レトリック。しかも独学で習得したとか。同じような研究をしている方は、  
日本には数えるほどしかいないそうです。そんな先生に広大生へのメッ  
セージをお願いしたところ、「何でもいので、今の自分では無理だ  
と思うことをやり遂げて、自分を鍛えよ」という言葉をいただきました。



研究室の中は、柳澤先生の人柄を感じさせるユニークな世界が広がっていました。

▲本棚には、映画のシナリオ本などがズラリ。

●70年前の蓄音機から流れ出すタンゴ♪ 初めて聴くけれど懐かしい音に聞きほれてしまいました。

◎レトロでお洒落な映画のポスターを発見!

取材・記事 / 総合科学部3年 清水 友梨



真鍋みわ Miwa Manabe

マツダ株式会社 プラント技術部 第2プラント技術グループ (2002年度工学部卒業)

—どんな仕事?やりがいを感じる瞬間は?

プラント技術部はマツダ内の建物・設備のすべてに関わる部署で、現在は中国に工場を建設するプロジェクトに携わっています。私の担当は環境関係、資料の翻訳などが中心です。



学生時代の留学経験で得た語学力を活かしたい、そして地元の製造メーカーに就職したいと選んだ会社ですが、入社当初は希望部署に配属されず、何ヶ月も仕事のことでも悩みました。でも、この部署で結果を出せないなら、他の部署でも同じこと。キャリアを磨く上で、ここで立ち止まっても仕方ないと気付いてからは仕事に前向きに取り組むようになり、同僚からも「明るくなったね!」と言われるようになりました。上司に相談して特別に配置換えなどの配慮してもらえたことも大きかったですね。今だから言えることですが、どんな仕事でも、一度わかり始めると面白くなってきますよ。

仕事でやりがいを感じるのは、自分の努力の成果が形になって見えたとき。例えば、作った資料が実際に会議で

週末はスノーボードのインストラクターに。プライベートを充実させると、自然と仕事もやる気になります。

使われると「役に立ってるんだ!」と実感できて次も頑張ろうと思えます。先日中国に出張した際は、現地で運転手をしていただいた方の結婚式に突然招待されるなんていうレアな体験もできました。

—プライベートの過ごし方を聞かせてください。

冬は毎週末、スノーボードのインストラクターをしています。学生の頃からの趣味ですが、最近は大会にも出場したりと、結構本格的に。今の目標は全国大会出場ですね。他のシーズンは、友人と旅行に行ったり料理をしたり、とにかく行動しています。せっかくの休みを家でボーっと過ごすのは、時間がもったいない気がして。今後は、夏にもスノーボードと同じくらい熱中できるものを見つけたいですね。

—今、大切にしていることは?

時間です。できる限り時間内に仕事をきっちり終わらせ、自分の時間を作る。そして限られたオフタイムをいかに有効に過ごすかを常に考えています。プライベートを充実させると、自然と仕事もやる気になりますね。社会人になると、とにかく自由な時間が少ない。学生のうちに趣味でも勉強でも、何かにとことん打ち込んでおくといいと思いますよ。



社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことはまたプライベートの話まで。私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

# 羅針盤 OB&OG紹介



—県職員という道を選んだ理由は?

私の場合、仕事をするのなら公のために役に立つことをしたいという想いが職業選択のベースになりましたね。仕事で公益を追求できるということで、公務員になろうと思ったわけです。現在は福祉保健部の予算を担当しています。具体的には、日々のお金の使い道の管理をしたり、必要性やメリットなどを政策的に色々な角度から検討し、県の事業の予算を編成していくことが仕事です。

—仕事をしながらの大学院生活は?

大学院への入学を決意したのは、改めて学ぶことの必要性を感じたからです。また公務員としての自分のキャリアを考えているうち、現在の自分にとって学び続けなければという意欲が自然と出てきたのです。社会人大学院というのは、これまで仕事をする中で生まれた自分の問題意識を、いかに学問的に整理し、どう解決していくかを学ぶところ。とてもリアリティがあるんですね。

ゼミや授業では、実際に仕事で取り組んでいることを発



表したりします。大学院生には多様な人がいて、未知の業界の話はとても刺激になりますし、学術的な理論を習得する一方、思い切り実践的なことも学べる。そのバランスが社会人になると大変楽々くわくするものでした。

在学中は、寝る時間が3時間しかない日もしばしば。働きながらの学生生活は本当にハードでしたね。でも、一緒に学んでいたパワフルな人たちからエネルギーをもらい、負けていけないという思いと職場の協力で、乗り切ることができました。普段接するチャンスのない個人的な人たちと出会うこともでき、私に人間としての広がりを持たせてくれたと思います。当時のネットワークは、今も続いているんですよ。

—大切にしていることを教えてください。

まず結婚したので、嫁さんを(笑)。これは別として、大切にしているというより、こだわっていることがあります。それは「何になりたいのか」ではなく「何をしたいのか」。つまり、公務員になりたいのではなく、公のために役に立つプロと

して仕事をしていきたいということ。もはや、公共的な仕事は、公務員だけがする時代ではないので、安定していると思われる公務員の世界も大きな変革が迫られています。ただ、今の道を選んだ理由である、根底の部分さえ揺るがなければ、公のためこれからも仕事を続けていくことができるかな...と考えています。



白川展之 Nobuyuki Shirakawa

広島県福祉保健部管理総室 福祉保健総務室予算グループ (2001年度大学院社会科学部研究科マネジメント専攻修了)

勉強の時間はつくりだすもの。公務員としてではなく、公のために役立つプロとして仕事をしたい。

## 取材を終えて



社会人になると、仕事だけで手一杯になり他のことをする気力なんてないんじゃないかと思っていたので、真鍋さんのエネルギーにびっくり!の一言です。例えば自分が希望していた仕事ができず落ち込んでしまっても、きっかけをつかんでそれを乗り越え、さらに仕事以外でも目標を見つけて打ち込んでいる真鍋さん。向上心の強さがひしひしと伝わってきました。素敵な社会人生活を送っている先輩のお話を聞くことができ、本当に良かったです。

取材・記事 / 総合科学部4年 藤 侑佳



初めて取材をしてみて、自分が今まで知らなかった未知の世界に踏み込んだなと感じました。インタビューの前は、何とかなるだろうと気楽な気分でしたが、いざ始めてみるとこれがなかなか思うよういかない。自宅に帰って録音したMDを聞いてみたときには、自分の不甲斐なさに恥ずかしくなりました。何事も実際にやってみないと分からないものです。今回は本当に貴重な経験をさせてもらいました。

取材・記事 / 経済学部4年 上田 陽介



# お客様は神様…と言いきれない日本

フランシスコ・ガルシア Francisco Garcia  
日本語・日本文化研修生(カナダ出身)



日本に来て一番驚いたのは、お店や公共施設で受ける“顧客サービス”の素晴らしさです。銀行でもレストランでも近所のコンビニエンスストアでも、どこに行っても「いらっしゃいませ!」と明るく大きな声で迎えられ、最高のサービスが受けられます。カナダにいたとき、日本では“客”が神様のように扱われ“お客様”と呼ばれていると聞いたことがありますが、実際に肌で感じて納得しました。

ところがしばらくすると、この素晴らしいサービスには別の側面があることに気がきました。そのきっかけは、レンタルビデオショップでの出来事。私は固定電話を引いておらず、携帯電話が唯一の連絡先です。しかし、その店には固定電話の番号を尋ねるルールがあり、携帯電話しかないと言えど、従業員は「ちょ、ちょっと待って下さい!」と困惑顔で上司を呼びました。すると上司もまた同じ説明をした後「ちょっと待って下さい」と言って別の従業員に相談します。OKなのかNOなのか、延々と

決まりません。この店に限った話ではなく、他の留学生も同様の経験をしています。私たちから見ればそれほど重要なこととは思えず、留学生の間では「なんてばかっているんだろう」とよく話題になります。決め



モントリオールに残る古い街並み。ハリウッド映画撮影のメッカ

られたルールの中では“お客様”に気持ちよく提供される日本の顧客サービス。でも、顧客のためにそのルールを曲げることをすぐためらう…。それでも本当に“お客様は神様”なの?と言いたくなりますね。

もちろん、このような悪い経験ばかりではありません。むしろ、留学してから日本に対する印象は良くなりました。日頃いろいろな面でサポートしてもらっている“JINGAI”というサークルは、様々なイベントを企画してくれて、大学祭では一緒にコーヒー&ワッフルの店を出しました。メンバーの誕生日にはみんなで手作りケーキをプレゼントし合います。彼らのおかげで日本での生活がさらに充実したものになっています。また、広島大学の留学プログラムは、とても魅力的です。ハイレベルな日本語の授業を受けられることはもちろん、日本語や日本文化に関連するテーマを研究でき、研究用にノートパソコンも借りられます。

残り半年の日本滞在を有意義に過ごし、留学を支えてくれるすべての人に恩返しするためにも、いつかカナダと日本の交流の架け橋になれるように努力していきたいと思ひます。

最後に、海外留学を考えている人にアドバイスを。母国語が通じる環境に身を置かず、意識的に留学先の言語を使うこと。自分の可能性を最大限に伸ばす、せつかくのチャンスなのでから。

原文 / 英語 翻訳 / 原田



九州弁で書かれた看板を思わず撮影。長崎にて



友人のなっちゃんにプレゼントした“なっちゃんケーキ”

## PROFILE

プロフィール  
カナダのケベック州モントリオール出身。モントリオール大学2年生、専攻は日本語と翻訳(英語→フランス語)。2004年10月、国費留学生として広島大学へ。現在、留学生センターで日本語の勉強だけでなく方言についても研究中。将来の夢は翻訳家(特に映画の字幕)。05年9月まで滞在予定。

# 体感地球

わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



# 輝く笑顔とその裏側にある現実

吉本麻衣子 Maiko Yoshimoto  
総合科学部4年



私は今、フィリピンのミンドロ島にあるサン・ロレンソ・ルイス小学校で、先住民族マンギヤン人の子どもたちに、リコーダーやダンスを教えています。以前から、将来は国際協力関係の仕事に就きたいという思いがありましたが、先進国に留学して講義室で悠々と理論を学ぶよりも、実際にフィールドに出て現実を学びたい、そう考えてアイセックの「Developing Traineeship」を選びました。

マニラでの2カ月間の研修後、3カ月目からミンドロ島での生活が始まりました。マニラの生活では、トイレで紙を流してはいけない(ゴミ箱に捨てる)こと以外は、特に不便は感じませんでしたが、ミンドロ島は何もかもが別世界。ホストファミリー宅での初日、水道をひねっても水が出ないことに、まず驚きました。水道が使えなくなったのは、その2カ月後。今でもたまに水道が止まり、停電もよく起こります。ただそれは、私が住んでいるミンドロ島東州都の話。州都からさらにバイクで約40



学校を訪問したお客さんにダンスを披露

分の距離にあるマンギヤン民族のコミュニティでは、人々は、電気、水道、ガスのない暮らしをしています。山からわき水を引き、料理は火おこしから始め、夜はアルコールに火をつけてランプの代わりにします。この生

活を初めて目にしたとき、私は大きな衝撃を受けました。

マンギヤン民族の子どもたちは、学校ではとても勉強熱心で、いつも笑顔が輝いています。しかしその笑顔の裏には、厳しい現実が見え隠れします。「朝ご飯を食べてきた人?」と先生が聞くと、大抵はゼロ。「昨日晩ご飯を食べた人?」と聞くと、半分ぐらいの生徒は手を挙げません。また、幼い兄弟の世話や仕事の手伝いのため、学校に来たくても来られない子どもたちもいます。ここでの優先事項は、教育ではなく今日明日を生きていくことなのです。

日本とはあまりにも違う生活。当初、地球上のこの不公平な現実が私に重くのしかかり、苦しみました。でも、私一人がどんなに苦しみ同情しても、彼らの生活が変わるわけではなく、彼らの生活に私が適応でき



るわけでもありません。それよりも、自分は日本人で彼らとは同じにならないこと、違うということを受け止め、認識し、その上で自分に何ができるかを考えて行動することが重要であると考えようになりました。

世界には、日本では当たり前な教育を十分に受けられない子どもたちがたくさんいます。私は将来、国際協力に携わり、より多くの子どもたちが教育を受けられるように支援する仕事に就きたいと思っています。



ジープニーという乗り合いバス。主要な交通手段の一つ

## PROFILE

プロフィール  
海外インターンシップを運営している「アイセック・ジャパン」のプログラムを利用して、フィリピンに滞在(2004年10月~05年8月)。マニラのNGO(BUKID Foundation)およびNGOが支援している小学校で研修。

【使用言語】英語、タガログ語

【1ヶ月当たりの生活費】約6万円(マニラ)、約3.4万円(ミンドロ島)

本人のHP [http://www.geocities.jp/maiko\\_april23/](http://www.geocities.jp/maiko_april23/)

BUKID FoundationのHP <http://www.geocities.jp/bukidfound/>

# Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

## ハラスメント・ゼロ・トレランスのキャンパスを目指して

ハラスメント相談室 教授 横山美栄子

本年2月1日、専従スタッフを擁する「広島大学ハラスメント相談室」がオープンしました。アカデミック・ハラスメントも含む包括的なハラスメント問題を扱う相談室を設置し、専任の相談員を配置する大学は全国でも少数であり、先駆的な取り組みとして注目されています。



### ■キャンパスにおけるハラスメント問題

ハラスメントとは、「権力を利用したいやがらせ・権利侵害」です。セクシュアル・ハラスメントは、「相手の意に反する性的言動によって不利益を与えたり、環境を悪化させたりする行為」です。社会的にも取り上げられることが多いので、ご存じの方も多いと思います。それに対してアカデミック・ハラスメントは「性的言動以外の、相手の意に反した言動で、就労就学環境を悪化させる行為」です。本学では次のように規定されています。『一定の就学・就労上の関係にある大学の構成員が、相手の意に反する不適切な言動を行い、これによって相手が、精神的な面を含めて、学業や業務遂行に関連して一定の不利益・損害を被るか、若しくは学業や職務に関連して一定の支障が生じること、又はそのようなおそれがあることをいう。』

ハラスメントは教職員から学生に対して、あるいは男性から女性に対してだけ起こるとは限りません。教職員同士、学生同士、女性から男性、同性同士でも生じます。講義等の際だけではなく、サークル活動や実習先などでも起こる可能性があります。

これらのハラスメント行為は、良好な環境で研究し教育を受ける権利や安全で働きやすい職場環境で働く権利、個人の性的自由・性的自己決定権、個人の名誉やプライバシーを著しく阻害する行為として禁じられています。

### ■ハラスメントの被害にあったら

自分自身の力で解決できればそれに越したことはありませんが、多くの場合、ハラスメント被害であることも十分にわからないまま、悩んだり、自身を責めたりすることがあります。また、加害行為を放置しておく、被害が拡大したり、解決がいつそう困難になったりします。できるだけ早くハラスメント相談に来られることをお勧めします。

### ■ハラスメント相談室の役割

ハラスメント相談室は、ハラスメント問題が生じたときに、迅速かつ適切に対応するための組織です。専門の相談員が被害を受けた人と一緒に解決の道筋を考え、権利回復のための支援を行います。また、広報や教育・研修等を通じてハラスメント問題への理解を深める活動を進めます。

「誰もが安心して学び、研究し、働くことができる大学」であることは、広島大学の存在価値を高める重要な要素です。ハラスメント相談室はハラスメント・ゼロ・トレランス（いかなるハラスメントも許さない）・キャンパスを目指します。

### 困ったなと思ったら

場所：東広島キャンパス中央図書館の地下1階（職員通用口に入って右奥です。）  
開室時間：月曜から金曜（祝日を除く）10時～17時



\*相談を希望される場合は、事前に電話またはメールで連絡してください。

電話・FAX：082-424-7204（直通）  
相談のメールアドレス：harassos@hiroshima-u.ac.jp

### 今年4月から、授業料の支払い方法が変わります

- 大学から送られてくる振込用紙を持って最寄りの銀行に行き、銀行窓口で授業料の振り込み手続きを行ってください。
- 振込用紙の発送は、4月中を予定しています。
- 現在行っている、指定銀行口座からの自動引き落とし、大学の授業料収納窓口での現金による支払いおよび現金書留を大学宛てに送付しての支払いは、平成17年4月からできなくなりますのでご注意ください。

### お問い合わせ先

広島大学財務部経理グループ Tel：082-424-6075

●平成17年度授業料（年額）		
学部（昼間）	535,800円	法科大学院 804,000円
学部（夜間主）	267,900円	専攻科（特殊教育）273,900円
大学院研究科	535,800円	

### 次期学長が決まりました

牟田泰三学長（67歳）の任期満了に伴う学長選考が行われ、学長選考会議は3月14日、現学長の牟田泰三氏を次期学長候補者として決定しました。任期は本年5月21日から2007年3月31日まで。牟田学長は福岡県出身。東京大学大学院数物系研究科博士課程修了。01年5月から現職。専門は素粒子論。

### インターネットをもっと身近に

#### ーキャンパス・ユビキタス・プロジェクト2005からのお知らせー

もみじの利用や就職活動のために、キャンパスだけでなく、自宅やアパートなどからもインターネットを利用したいと考えている人も多いため、インターネットの利用には、電話や光ファイバーなどの接続回線と、プロバイダーと呼ばれる接続サービス事業者との契約が必要になりますが、新しく利用しようとする、サービス内容や価格が様々で、選ぶのに困っていませんか。

そこで、東広島キャンパスの近くで利用できる接続回線とプロバイダーに関する情報を集め提供しています。

<http://info.office.hiroshima-u.ac.jp/CUP/>

また、キャンパスの中でも、皆さんが「いつでも」「どこでも」気軽にインターネットを利用できるよう、図書館や学生食堂、課外活動施設などに、皆さんのノートパソコンから手軽に接続できる無線LAN設備の設置を進めています。

### ウイルス対策ソフトウェアを配布します

本学では、できるだけ安全にパソコンを利用いただくために、在学期間中はウイルス対策ソフトウェアを無償で提供しています（本年3月から）。パソコンを使う場合は、あなたのためにも、みんなのためにも、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールしてください。



<https://license.office.hiroshima-u.ac.jp/>

### 5月から撮影開始!!

#### ー本学相撲部をモデルにした映画「ちゃんこ」ー

本学の相撲部をモデルにした映画「ちゃんこ」の撮影が、いよいよ5月から始まります。東広島キャンパス内でもロケが行われますので期待ください。

### STORY

主役である女子部員（由香）が、ひょんなことから相撲部に入部し、自分の平凡な学生生活のいらだちを吹っ切るかのように、ひたむきに相撲にのめり込んでいきます。と同時に、部員の留学生達が文化や習慣の違いが原因で日々衝突しながらも、相撲を通して日本文化になじみ、日本人を理解して、国境を越えた友情を築いていきます。笑いあり涙ありの感動的でさわやかなストーリーです。

大学相撲部を描いたヒット作「シコふんじやった」とは一線を画し、ジャマイカ人がウインタースポーツのボブスレーに挑戦する「クール・ランニング」をほうふつとさせる内容です。国境を越えた留学生による未経験スポーツへの挑戦が見ものです。

監督 サウトシキ氏

出演 主役の由香（18）役

須藤温子さん（大林宣彦監督「なごり雪」のヒロイン雪子役）



### 2005年4月～7月までの主なスケジュール

4月	4. 1～6. 6 健康診断*
	4. 3 入学式
	4. 3～4.24 履修手続*
	4. 6～4.21 授業料免除申請受付* 平成17年度入学の大学院学生（4/6～8）、平成17年度入学の学部学生（4/19～21）、霞（学部新入生は除く）・東千田キャンパスの学部学生・大学院学生（4/13～15） ●東広島キャンパスにある学部・研究科の2年次生以上については3月に受付終了
	4. 8～4. 9 交通安全講習会
	4. 9 前期開始
	4.11～5.23 日本学生支援機構奨学金出願受付* 学部2年次生以上（4/11～4/15）、大学院学生（4/21～4/28）、学部1年次生（5/13～5/23）
	4月中旬～ オリエンテーションキャンプ* 6月初旬まで
	4.28 授業料振り込み 締め切り
5月	5.21 TOEIC® IP試験
6月	6.18 フェニックスコンサート 6.26 ゆかたまつり
7月	7月中旬～ 後期分授業料免除申請のしおり配布 7.31 前期終了

注意 ※印のあるものは、学部・研究科、学年等によって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板等で確認してください。

# HU-style創刊

広大生の皆さん、  
学生向け広報誌「HU-style」が  
誕生しました。  
“エイチユースタイル”と呼んでください。  
創刊号なので自己紹介します。

誌名：HU-style  
発行：季刊(年4回：4月、7月、10月、1月)  
頁数：16~20頁  
定価：無料  
発行部数：12,000部  
編集・発行：広島大学情報化推進部広報グループ

## 「HU-style」の由来

“HU”は、Hiroshima Universityの略。“style”は、学生、教職員、卒業生をはじめ様々な人々、その一人ひとりが持つ多様な個性、価値観…を表しています。それぞれの“style”を学生の皆さんに紹介し、「挑戦する、行動する」一つのきっかけになれば…そんな思いをこめて「HU-style」と名付けました。



ちなみに、名称は昨年、皆さんに公募しました。ご存じでしたか? 「もみじ」で呼びかけ、学内にポスターを貼って募集したところ、思わず笑みがこぼれるものから、なるほどと納得するものまで、62名の方から101個の応募がありました。編集部で慎重に検討した結果、大学院先端物質科学研究科の中川鉄水さんと工学部の森本光也さんの案を組み合わせ「HU-style」という名称に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



中川さん、森本さんには、椿副学長から感謝状および記念品を贈呈しました

## 編集コンセプト

「HU-style」は、広大生のための広報誌です。“人に焦点をあてた編集”をコンセプトとし、さまざまな人々の“style”を、広大生に紹介していきます。「挑戦する、行動する」一つのきっかけになれば…そんな思いを込めて編集します。

## コンテンツ

あの人に会いたい：さまざまな分野で活躍している、憧れの“あの人”にインタビュー

- 特集：キャンパスの旬の話題にクローズアップ
- 学生取材班が行く：プチトリビアから時事問題まで学生がリポート
- Knock on the door：気になる研究室等を訪問
- 羅針盤 OB・OG紹介：卒業生にインタビュー
- 体感地球：外国人留学生&日本人留学生の奮闘記

Hi! Hirodai Information：広島大学の動きやニュースを紹介  
Snap Snap!：キャンパス内の人をテーマにスナップ!

## 編集部紹介—HU-styleを作っているのは誰?

編集・発行は「広島大学情報化推進部広報グループ」です。さらに、学生にとってタイムリーな企画となるように、企画立案段階から学生広報スタッフが多数参加しています。もちろん学生自ら取材し記事も書きます。現在、学生広報スタッフは約20名。東広島キャンパスだけでなく霞、東千田両キャンパスにもスタッフがいます。でも、1~2年生のスタッフが少ないのが目下の悩み。一緒にHU-styleを作ってみようというあなた、学生広報スタッフになりませんか? もちろん3年生以上や大学院生も大歓迎です。興味のある方は、編集部までご連絡ください。

取材で学外に出かけることも、それぞれが自分のできる範囲内で担当し、その力をつなぎ合わせて1冊の広報誌を作り上げます。

取材中  
です!!



## あなたの一声、待ってます!

「あの人にインタビューしてほしい」「最近、私の周りでこんなことが話題になっている」「あの先生の授業を受けて目から鱗が落ちた」「気になる場所があるので調べてほしい」といった情報をどしどし編集部までお寄せください。もちろん、学生以外の方でも構いません。あなたの一声、待ってます。

## 創刊号に寄せて 広大生のための情報交差点をめざします。

『HU-style』創刊にあたり喜びと感謝の気持ちに満ちています。広大生に愛される広報誌の新しい“style”を念頭に昨秋から精力的に企画を進めてきた学生広報スタッフの皆さん、トゥービーの柏木さん、広報グループの村上主査(本誌編集長)および原田さんほか関係者のアイデアと努力の結晶です。今後も一層の充実に向けて歩みますのでどうぞご期待ください。

学長補佐(広報担当) 林 武広



## COVER 人創刊号

笑顔がすてきな三戸さん。春をイメージさせるピンク色のチューリップが、彼女のやさしく、やわらかな雰囲気にもマッチ。撮影はサタケメモリアルホールで行いました。

### 三戸 沙織さん

- 工学部2年
- ダンスサークル「Rhythmic Dance Club」に所属

## 本人コメント

声をかけられ、好奇心でついっていったらこんなことに(笑)。でも、プロのカメラマンに撮ってもらうのは初めてだったので、いい経験になりました。去年はダンス中心の生活で、あつという間の1年間。今年はそれだけでなく、勉強もバイトも何事も真剣に、中途半端にならないようにガンバります。

## 表紙モデル募集

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

## CONTENTS

- 01 あの人に会いたい
  - 01 NHKアナウンサー 小野文恵
- 03 特集 春だから、恋をしよう
  - 吉本 武史 03
  - 劉 玉燕 03
  - 井藤由希子 03
  - 河原 正人 04
  - 青山 晴信 04
  - 筒井 志歩 04
- 05 学生取材班が行く
  - 05 タバコの問題—どうする広大生!?
  - 05 灰ヶ峰 一言葉にできない夜景—
- 06 Knock on the door
  - 06 大学院教育学研究科 柳澤研究室訪問
- 07 羅針盤 OB・OG紹介
  - 真鍋 みわ 07
  - 白川 展之 08
- 09 体感地球 わたしの世界見聞録
  - 09 フランシスコ・ガルシア
  - 09 吉本麻衣子
- 11 Hi! Hirodai Information
  - 11 ハラスメント相談室
  - 12 各種お知らせ
  - 13 HU-style創刊
  - 14 COVERな人
  - 14 編集部からのお知らせ

## 編集部からのお知らせ

### HU-style編集基本方針

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてもらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめ様々な人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

### 投稿募集

- ①掲載された記事へのご意見、ご感想  
1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上で匿名もOKです。
- ②情報の提供、「HU-style」への提言  
取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。  
※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

### 学生広報スタッフ募集!

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

### 定期購読のお申し込み

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

### 本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます

### 個人情報保護について

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

### お問い合わせ・お申し込み

広島大学情報化推進部広報グループ「HU-style」編集担当  
(連絡先は下記参照)

編集後記  
「へえ〜なかなかいいじゃん」が第一印象。見てきましたよ灰ヶ峰山頂からの夜景。「広大生なら一度は行くんですよ」との学生広報スタッフの話に、なに?ハイガミネノ夜景、どこがえんかいね?夜景なら広島流川辺りの方が…と思いつつ、スタッフが書いた原稿片手に現場検証に。その日、初めて見る灰ヶ峰からの夜景に思わず出たのが冒頭の言葉。途中路肩に停まっている車を見て「何やってるんですかね」とはナビ役の同乗者のとぼけた言葉。みなさん安全運転でどうぞ。さて、新しい広報誌「HU-style」の創刊です。広大生のみならず、「挑戦する! 行動する!」をキャッチフレーズに、HU-styleで夢を語りましょう。(なお)

HU-style 2005年4月号 Vol.1 (季刊)  
編集・発行 広島大学情報化推進部広報グループ  
住所 〒739-8511 広島市鏡山一丁目3番2号  
電話 082-424-6017  
F a x 082-424-6040  
E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp  
制作 有限会社トゥービー  
印刷 中本総合印刷株式会社

※次号は7月初旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)



☆オリキャン成功☆文



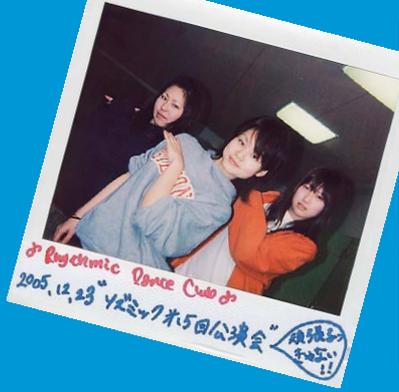
2005 é meu último ano no Japão...  
Самое лучшее  
Желаю удачи абитуриентам 2005!!



WE LOVE Dance



四年だけじゃ、  
今年もヒッジメインでいきます!



おPsychic Dance Clubの  
2005.12.23 4位7ホ5回公演会



元大ラグビー部  
全国大会へ!!



打倒 関西!!



いいナースになれるように  
がんばります ^.^

キャンパスを歩く人たちをSnap Snap!《春のいきごみ編》



☆☆ 就職内定!! ☆☆



目指せ男祭り!!!



放假了



デカッ男に...



この命を春くみます◎



友達100人できるかな?



野外活動サークル  
来られ!! 新入生100人!!



頑張るとお弁当作ってまーす



好きじゃ.....



4年目のオリキャン頑張るぞ!



ダイエットサヨウ!!  
目標のkg減!!!!



追試トッパ合格!!